

しんせいから学んだこと

なぎさ小学校 五年三組 石川大地

千九百九十五年、一月十七日におつたその
大きな地しん、阪神淡路大しん災をしりませ
ん。

今、ぼくたちは、おいしいごはんもい、ほ
い食べれるし、水もあつて電気もガスもあり
ます。しかし、地しんがあつたころには、水
もなく電気もガスもなく食べるものすらあま
りなかつたなんて、想像もできません。

阪神淡路大しん災で、家族や友達をなくし
てしまつた人もいるし、また、自分の大切な
物をすべてなくした人もいる。家をなくした
人もいる。中には、なににもかもなくしてしま
つた人もいる。でも、近所の人や 親せきに
助けてもらつて今がある。助けてもらつたら
心があたたかくなる。それで、神戸に、
「絆」
ができたんだと思います。

お母さんに、地しんで台所がぐちゃぐちゃ
になつたけど、周りの人に助けてもらつたら

うです。

この地しんで、神戸は、すぐきずついた
けど、みんなの助け合いで、またみんなの神
戸が復活しました。今ぼくが生きているのも
みんなが助け合、たおかげです。「ありがと

う
レ

Handwriting practice grid with 20 columns and 20 rows.